

1. 科目名 (単位数)	外国語 (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2322
2. 授業担当教員	井草 玲子		
4. 授業形態	講義、演習、ペア・グループ活動	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	2020 年度に新学習指導要領が全面実施となるのに伴い、小学校では外国語活動 (中学年) と外国語 (高学年) が新たに加わることとなる。本講義では、小学校における外国語活動・外国語科の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する背景的な知識を身に付けることを目標とする。場面に応じた教室英語の使用を始めとした、授業を实践する上で必要な英語力 (聞く・話す・読む・書く) とそれを支える背景知識 (英語の音声、語彙、文構造や異文化理解) を培っていく。また、授業実践に必要な 4 技能は、関連した背景知識 (音声、文字等) が授業内で扱われる際に実践の機会を併せて設けることで養っていくようにする。		
8. 学習目標	1. 小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な実践的な英語力を、授業場面を意識しながら身に付けることができる。 2. 小・中学校の継続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な背景的な知識を身に付けることができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	宿題：事前学習と事後学習の欄を見て丁寧に予習と復習を行うこと。 レポート課題： 1. 「第二言語習得理論」の英語教育への応用に関するレポート 2. 「英語の語彙」に関するレポート 3. 他、授業振り返りシート (15 回分) ・ワークシートの提出		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 酒井英樹・滝沢雄一・互理陽一『小学校で英語を教えるためのミニマム・エッセンシャルズー小学校外国語科内容論』三省堂。 【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領外国語活動・外国語編』開隆堂。 文部科学省『中学校学習指導要領外国語編』開隆堂。 文部科学省『高等学校学習指導要領外国語編』開隆堂。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な実践的な英語力を、授業場面を意識しながら身に付けることができたか。 2. 小・中学校の継続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な背景的な知識を身に付けることができたか。 ○評定の方法 復習テスト 30% レポート課題 40% コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度を含む。) 30%		
12. 受講生への メッセージ	・本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は、単位の修得は基本的に認められません。 ・受講にあたっては、事前学習と事後学習を丁寧に行い、授業中は、受講者全員を思いやり、授業に集中し、多くの知識・技能を習得してください。 ・外国語活動・外国語科の授業を行う上で必要な実践的な英語力を身に付けるための活動を毎時間行うので、しっかり準備し、授業に臨んでください。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		メール: reigusa@ed.tokyo-fukushi.ac.jp
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 第 1 章 コミュニケーション能力	事前学習	教科書第 1 章を読み、外国語教育におけるコミュニケーション能力の扱いを把握する。
		事後学習	外国語教育におけるコミュニケーション能力について再度教科書の該当部分を熟読する。
第 2 回	第 2 章 第二言語習得理論	事前学習	教科書第 2 章を読み、第二言語習得理論に関する基本的な事柄を把握する。
		事後学習	第二言語習得に関する基本的な事柄について再度教科書の該当部分を熟読する。
第 3 回	第 3 章 英語の音声：音素・母音・子音	事前学習	教科書第 3 章を読み、英語の音声、特に、音素・母音・子音に関する基本的な事柄について把握する。
		事後学習	音素・母音・子音に関する基本的な事柄について再度教科書の該当部分を熟読する。
第 4 回	第 3 章 英語の音声：プロソディー・音変化	事前学習	英語の音声、特に、プロソディー・音変化に関する基本的な事柄について把握する。
		事後学習	プロソディー・音変化に関する基本的な事柄について再度教科書の該当部分を熟読する。

第5回	第4章 英語の文字	事前学習	教科書第4章を読み、英語の文字に関する基本的な事柄について把握する
		事後学習	英語の文字に関する基本的な事柄について再度教科書の該当部分を熟読する。
第6回	第6章 英語の書き方	事前学習	教科書第6章を読み、英語の書き方について把握する。
		事後学習	英語の書き方について再度教科書の該当部分を熟読する。
第7回	第7章 日本語のローマ字表記	事前学習	教科書第7章を読み、日本語のローマ字表記について把握する。
		事後学習	日本語のローマ字表記について再度教科書の該当部分を熟読する。
第8回	第8章 英語の語彙	事前学習	教科書第8章を読み、英語の語彙に関する基本的な事柄について把握する。
		事後学習	英語の語彙に関する基本的な事柄について再度教科書の該当部分を熟読する。
第9回	第8章 英語の語彙指導について	事前学習	実際の教科書に目を通し、小学校における語彙指導について考える。
		事後学習	英語の語彙指導について理解を深める。
第10回	英語の文法：文・文の構造	事前学習	印刷教材を読み、英語の文法、特に文と文の構造に関する基本的な事柄について把握する。
		事後学習	英語の文と文の構造に関する基本的な事柄について理解を深める
第11回	英語の文法：文法の指導	事前学習	印刷教材を読み、英語の文法の指導に関する基本的な事項について把握する。
		事後学習	英語の文法指導の基本的な事項について理解を深める。
第12回	第13章 絵本を選ぶ視点	事前学習	教科書第13章を読み、絵本を選ぶ視点について把握する
		事後学習	絵本を選ぶ視点について再度教科書の該当部分を熟読する。
第13回	第15章 異文化理解	事前学習	教科書第15章を読み、異文化理解について把握する。
		事後学習	異文化理解について再度教科書の該当部分を熟読する。
第14回	第15章 異文化理解の応用	事前学習	配布プリントをよく読み、新学習指導要領で扱われている異文化理解の項目に目を通す
		事後学習	授業で学んだことをよく復習し、ポイントをまとめ、今後の授業に活かす。
第15回	総まとめ：15回の授業の重要事項の確認 質疑応答 授業評価	事前学習	既習事項について整理しておき、疑問点があれば質問を準備しておく。
		事後学習	既習事項を総復習して、「外国語の指導法」の授業に活かす。